

施策	7104 市民参画の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	パブリックコメントの実施、地域市政懇談会の開催等を図る。						
成果指標	まちづくり懇談会出席者数...5年間（平成25年度～平成29年度）で1,150人（現状値 1,050人）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	920.00	1,100.00	1,110.00	1,130.00	1,150.00
		実績	957.00	1,131.00			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	552,053	679,454	0	0	0
実績		523,145	616,611			0	
内 部 評 価	貢献度	まちづくり懇談会ふれあいトークの出席者を増やし、市民の市政への参画を促すことは、上位施策の「住民参加の満足度」の向上に大きく貢献している。					
	達成状況	本年度は目標値に達している。					
	課題	懇談会開催の周知を広報紙やHPのほかフェイスブックやツイッターで数多く行い、出席者の増加を図るほか開催場所や時間等も検討する事が必要であると思料する。					
	取組方針	懇談会実施後に行うアンケート調査を基に、開催日数や時間、場所を検討し、懇談会の出席者の増加を図る。					
外 部 評 価	市民が市政に参画するための手段として、まちづくり懇談会は有効なものであると思う。懇談会への出席者数については順調に推移しているが、参加する市民の方の世代に偏りがあるので、開催時間・場所や周知方法などを再検討し、広い世代にわたって参加できる仕組みを構築していただきたい。また、開催にあたっては、参加者の発言を増やし活発な意見交換となるよう、意見交換（フリートーク）の時間を増やすよう検討いただきたい。計画・施策等に関するパブリックコメントの実施は、市民が市政へ参画する機会の一つの方法であるが、市民に対する周知が不十分であるので、もっと注目度がアップするよう周知方法について再検討を望む。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	670301	市政功労者表彰等事業費				2,882	100
	670601	選挙管理委員会運営費				6,916	100
	670701	選挙啓発費				2,422	100
	673202	広聴事業費（大平）				3,630	100
	673201	広聴事業費（栃木）				5,267	96
	673204	広聴事業費（都賀）				2,272	69
	673206	広聴事業費（岩舟）				5,026	56
	673203	広聴事業費（藤岡）				2,296	55
	673205	広聴事業費（西方）				2,272	42
670801	市長及び市議会議員選挙費				123,685	1	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673202	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策												
事業名	広聴事業費（大平）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有の推進			市民参画の充実											
担当部課 係・担当チーム名	大平総合支 大平地ま課 地域まちづくり担当 地域まちづくりチーム										担当者	戸田 良訓			従												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H 2 2 ~ H 2 9 年度		全体事業費 (人件費除)	243 千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映する。															
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											成果 施策目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0											事業の内容 その成果	平成26年度						平成27年度					
	県支出金		0	0												事業の内容 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理						事業の内容 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理					
	地方債		0	0												その成果 さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映することができた。						その成果 さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映することができた。					
	その他特財		0	0																							
	一般財源		30	43																							
	事業費 a		30	43																							
	人件費 b		3,600	3,600																							
減価償却費 c		0	0																								
総事業費 a+b+c		3,630	3,643											指標名	算出方法						単位	事業の事後評価					
結果指標 1		209.00	200.00											懇談会参加者数	人						人	妥当性 妥当 コスト削減の余地 無 受益者負担 適正 上位貢献度 有効 類似事業の有無 無 成果向上の余地 無					
結果指標 2																											
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークを開催し、市政の報告及び市民からの要望等を伺った。 ・メールや投書箱を活用し、広く市民の声を聴く。																										
事後評価備考																											

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673203	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	広聴事業費（藤岡）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進	市民参画の充実			
担当部課 係・担当チーム名	藤岡総合支 藤岡地ま課 地域まちづくり担当 地域まちづくりチーム										担当者	五十畑文寛	従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	330	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域住民の声を広く聴く機会を設け、市政に反映させる。 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 ・広聴案件の処理。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民の意見・提案等を市政に反映させる。					
	成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0	0	【内容】						【内容】					
	地方債	0	0	・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催。						・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催。					
	その他特財	0	0	・メールや投書箱による広聴事案受付。						・メールや投書箱による広聴事案受付。					
	一般財源	46	7	【成果】											
	事業費 a	46	7	・まちづくり懇談会ふれあいトークを開催し											
	人件費 b	2,250	2,250	・地域住民の声を聴く機会を設けた。											
減価償却費 c	0	0	・広聴事案に対し、回答を行った。												
総事業費 a+b+c	2,296	2,257	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	133.00	240.00	市政懇談会参加者数	各地区市政懇談会参加者数の計				人		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2															

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) まちづくり懇談会ふれあいトークの周知の強化を図り、参加者の増を図る。														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673204	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	広聴事業費（都賀）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進			市民参画の充実		
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀地ま課 地域まちづくり担当						担当者	佐藤 律子			従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	4,368 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトーク ・市政に対する要望、意見等の処理										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・市民の意見、提案等を広く募り、市政に反映させる。						
	単位：千円、人										成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金			平成26年度決算額		平成27年度決算見込		事業の内容 平成26年度 【事業の内容】 市政に関する意見や要望、提案等を募り、市政に反映させる。 【成果】 ・まちづくり懇談会ふれあいトークを、合戦場小学校体育館・都賀公民館講堂・赤津小学校体育館の3カ所で開催した。 ・支所窓口に設置した投書箱やメールで寄せられた広聴案件の処理を行った。										
	県支出金			0		0												
	地方債			0		0												
	その他特財			0		0												
	一般財源			22		19												
	事業費 a			22		19												
	人件費 b			2,250		2,250												
減価償却費 c			0		0													
総事業費 a+b+c			2,272		2,269		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1			3.00		2.00		懇談会実施数	年間懇談会実施数			回		妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2			124.00		81.00		懇談会参加人数	各地区懇談会参加者数の計			人							
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) まちづくり懇談会への参加者増に努める。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673205	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	広聴事業費（西方）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進		市民参画の充実		
担当部課 係・担当チーム名	西方総合支 西方地ま課 地域まちづくり担当 地域まちづくりチーム					担当者	狐塚 浩		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等								事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	124 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 ・広聴案件の処理。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民の意見・提案等を市政に反映させる。							
	成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度			平成27年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・市政に関する地域の声を聴くため、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施する。 西方地域における開催回数 3回 【成果】 ・市民の声を市政運営に反映することが出来た。			【事業の内容】 ・市政に関する地域の声を聴くため、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施する。 西方地域における開催回数 2回						
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	22	30										
	事業費 a	22	30										
	人件費 b	2,250	2,250										
減価償却費 c	0	0	事業の内容 その成果										
総事業費 a+b+c	2,272	2,280	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	63.00	150.00	懇談会参加者数	各地区懇談会参加者数の計		人		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・事業の実施回数や周知方法は例年と同様であったが、一般参加者の参加延べ人数が大幅に落ち込んだ。(H25年度：127人 H26年度：63人) ・今後は事業の周知方法や自治会との連携を強化し、参加者の増に努めるとともに、開催回数、会場、開催日時等も併せて検討し、当該地域において、最も効率的、且つ効果的に実施できるよう努める。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673206	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	広聴事業費(岩舟)										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進	市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	岩舟総合支 岩舟地ま課 地域まちづくり担当 地域まちづくりチーム						担当者	海賀 彩子		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	148		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域住民の声を広く聞く機会を設け、市政に反映する。 ・広聴案件への対応。 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 多くの市民の提案や意見等を市政に反映する。							
	成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)													
単位:千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込							平成26年度		平成27年度				
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	【内容】 ・メール等による意見聴取 ・まちづくり懇談会の開催 【成果】 ・投書箱の設置 ・メール等による広聴案件への対応 ・まちづくり懇談会の開催により、地域住民の意見を聴取する機会を設けられた。										
	県支出金	0	0												
	地方債	0	0												
	その他特財	0	0												
	一般財源	26	33												
	事業費 a	26	33												
	人件費 b	5,000	4,500												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	5,026	4,533	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1	135.00	182.00	市政懇談会参加者数	各地区市政懇談会参加者数の計		人		妥当	無	適正	有効	無	無		
結果指標 2															
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 広く意見等を聴取するためにも、開催周知を行うことによりまちづくり懇談会参加者数の増加を図る。														
事後評価備考															